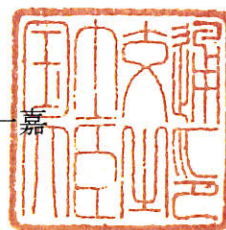


認 定 書

国 住 指 第 1739 号
令和元年 10 月 16 日

因幡電機産業株式会社
代表取締役社長 喜多 肇一 様

国土交通大臣 赤羽 一嘉



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 129 条の 2 の 4 第 1 項第七号ハ（防火区画貫通部 1 時間遮炎性能）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
PS060WL-1078
2. 認定をした構造方法等の名称
ケーブル・電線管・給水管・排水管／ポリオレフィン系樹脂混入無機質充てん材・膨張黒鉛混入ポリオレフィン系樹脂水酸化アルミニウム系シール材充填／壁準耐火構造／貫通部分
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 構造名：

ケーブル・電線管・給水管・排水管／ポリオレフィン系樹脂混入無機質充てん材・膨張黒鉛混入ポリオレフィン系樹脂水酸化アルミニウム系シール材充填／壁準耐火構造／貫通部分

2. 寸法等の仕様：

寸法等の仕様を表 1 に示す。

表 1 寸法等の仕様

項 目		仕 様
開口部	形状	円形(φ 160mm以下)
	面積	0.0202m ² 以下
占積率 (開口面積に対するケーブル・配管等の断面面積の総合計の割合)		63.0%以下
貫通する壁の構造等		建築基準法施行令第112条第2項に掲げる基準に適合する壁構造(60分)又は建築基準法第2条第七号の規定に基づく壁構造(60分) 厚さ80mm以上

3. 主構成材料の仕様：

主構成材料の仕様を表 2 に、ケーブル・配管等の構成材料を表 3 に示す。

表 2 主構成材料の仕様

項 目		仕 様	
充てん材① (耐熱シール材)		材料	梱包材付ポリオレフィン系樹脂混入無機質充てん材
		使用箇所	蓋金具の内周部分
	梱包材	材料	仕様：あり又はなし
		厚さ	
	充てん材	材料	ポリオレフィン系樹脂・炭酸カルシウム系シール材
		形状	パテ状
		密度	
		組成 (質量%)	
		使用量	蓋金具の形状に合わせて隙間が無いよう密に充てん (壁面から40mm以上)
充てん材② (熱膨張性耐熱シール材)		材料	熱膨張黒鉛混入ポリオレフィン系樹脂・水酸化アルミニウム系シール材
		形状	パテ状
		密度	
		組成 (質量%)	
		使用箇所 (使用量)	蓋金具及び充てん材①の内側に隙間が無いよう密に充てん (ケーブル・配管等の周囲、壁面から40mm以上)

表3 ケーブル・配管等の仕様

項 目		仕 様					
ケーブル (電線)	導体(又は芯線)の 断面積	1本あたり	38mm ² 以下				
		総合計	159.5mm ² 以下(銅等の金属類)				
	総有機量	0.70kg/m以下					
	導体(又は芯線)の 種類	銅、ガラス繊維、その他これらに類する不燃性の材質					
	絶縁体	ポリエチレン系	厚 さ	1.2mm以下			
		塩化ビニル系					
		EPR(エチレンプロピレン系)					
	介在(円形に調整 する充てん材)	紙、ジュート、ポリプロピレン、又はなし					
シース	ポリエチレン系	厚 さ	1.7mm以下				
	塩化ビニル系						
	ポリオレフィン系						
	合成ゴム						
配管等 (電線管・配管 ・ さや管・挿入管) 配管等の種類	合成樹脂製可とう電線管(CD管、PF管) (JIS C 8411)		外 径	厚 さ	—		
	銅管 (JIS H 3300、JIS H 3320)					PF管 φ36.5mm 以下 CD管 φ42mm 以下	
	銅管 (JIS G 3442、JIS G 3452、JIS G 3454、JIS G 3455、 JIS G 3456、JIS G 3458、JIS G 3460)					φ53.98mm以下	
	ステンレス鋼管 (JIS G 3447、JIS G 3448、JIS G 3459)					φ48.6mm以下	
	硬質ポリ塩化ビニル管(VP、HIVP、HT) (JIS K 6741、JIS K 6742、JIS K 6776)					φ48.6mm以下	
	可とうポリエチレン管					φ32.0mm以下	
						φ22mm以下	
被覆材 (あり又はなし)	発泡ポリエチレン系		96mm以下 (仕上り外径)	20mm以下			
	発泡架橋ポリエチレン系						
	発泡ポリウレタン系						
	発泡ポリスチレン系						
	発泡ポリプロピレン系						
	発泡フェノール系						
	発泡シリコーン系						
	発泡難燃ポリオレフィン系(酸素指数28以上)						
	グラスウール(JIS A 9504)						
	ロックウール(JIS A 9504)						
	発泡合成ゴム系(ニトリル、ブチルゴム系)						
	使用方法	1)必要に応じて、配管(銅管、鋼管、ステンレス鋼管)に厚さ20mm以下の被覆材を用いる					
		2)必要に応じて、配管(硬質ポリ塩化ビニル管)に被覆材10mm以下の被覆材を用いる					

4. 副構成材料の仕様：

副構成材料の仕様を表4に示す。

表4 申請仕様の副構成材料

項 目	仕 様	
蓋金具 (本体・保持材)	材料	鋼製(めっき処理品含む)
	寸法	本体 厚さ0.8mm以上、高さ40mm以上 保持材(充てん材①の保持部品) 厚さ0.8mm以上、6箇所以下(数量は開口寸法による)
留付金具	材料	鋼製(めっき処理品含む)
	寸法・数量	厚さ0.8mm以上、2個
	使用箇所	蓋金具の固定用
留付材	材料	タッピンねじ又はコンクリートビス (鋼製又はステンレス鋼製)
	寸法	φ3.8×38mm以上
	使用箇所	蓋金具・留付金具の壁面への留付用(4箇所)
開口部補助材 (鋼製枠)	材料	仕様：あり又はなし 鋼製(めっき処理品含む)
	寸法	厚さ0.25mm以上 (長さは壁の厚さ以上)
	使用箇所	中空壁の場合、貫通部に設置
ケーブル・配管等 補助材	材料	仕様：あり又はなし 塩化ビニル系フィルム
	寸法	厚さ0.2mm以下、幅：75(±5)mm以下 (長さはケーブル・配管等全体の外周+50mm以下)
	使用箇所	充てん材②とケーブル・配管等周辺部に巻く (全体に巻き付け、単独配管等又は複数配管等に巻き付けても良い)
貼合わせ用テープ	材料	①～③の一 ①ポリオレフィン系 ②ポリ塩化ビニル系 ③紙
	寸法	厚さ0.2mm以下 幅50mm以下 長さ75mm(±5)以下
	使用箇所	ケーブル・配管等補助材端部の貼合わせ箇所

5. 構造説明図：
構造説明図を図1～図3に示す。

単位 mm

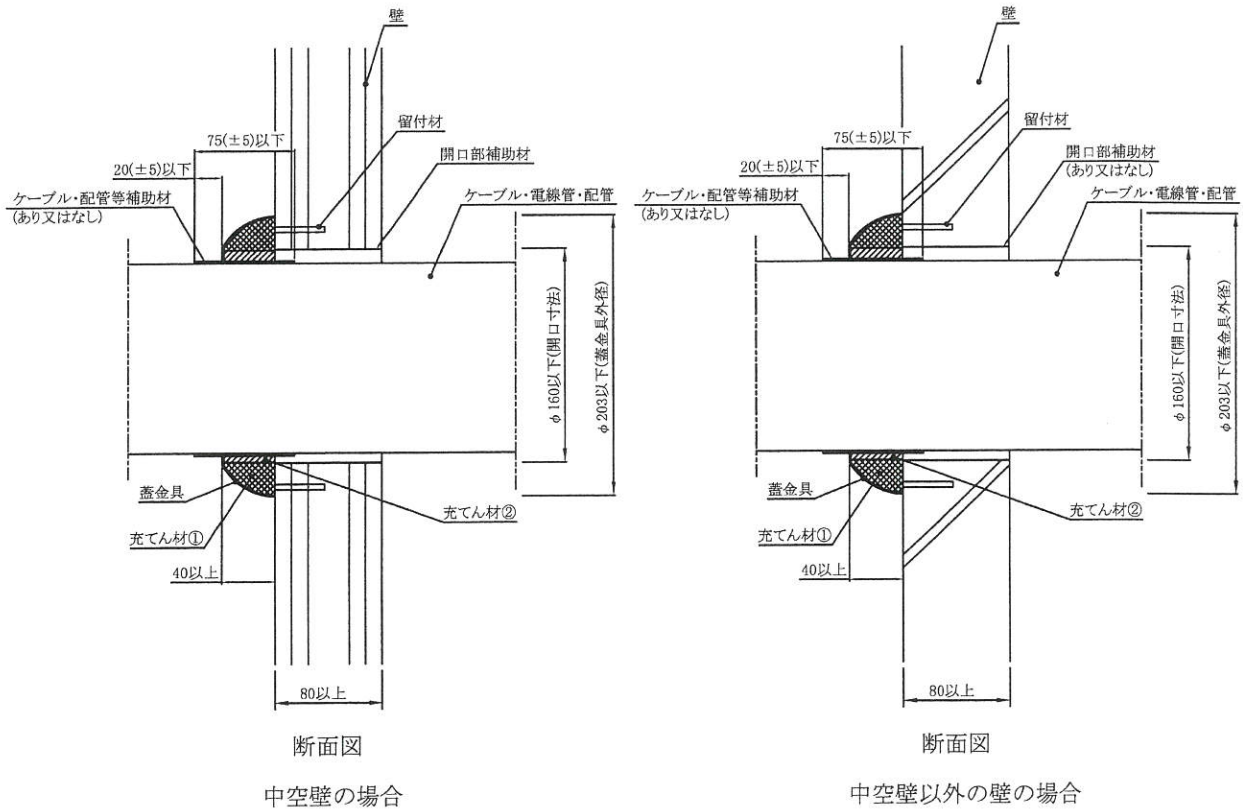
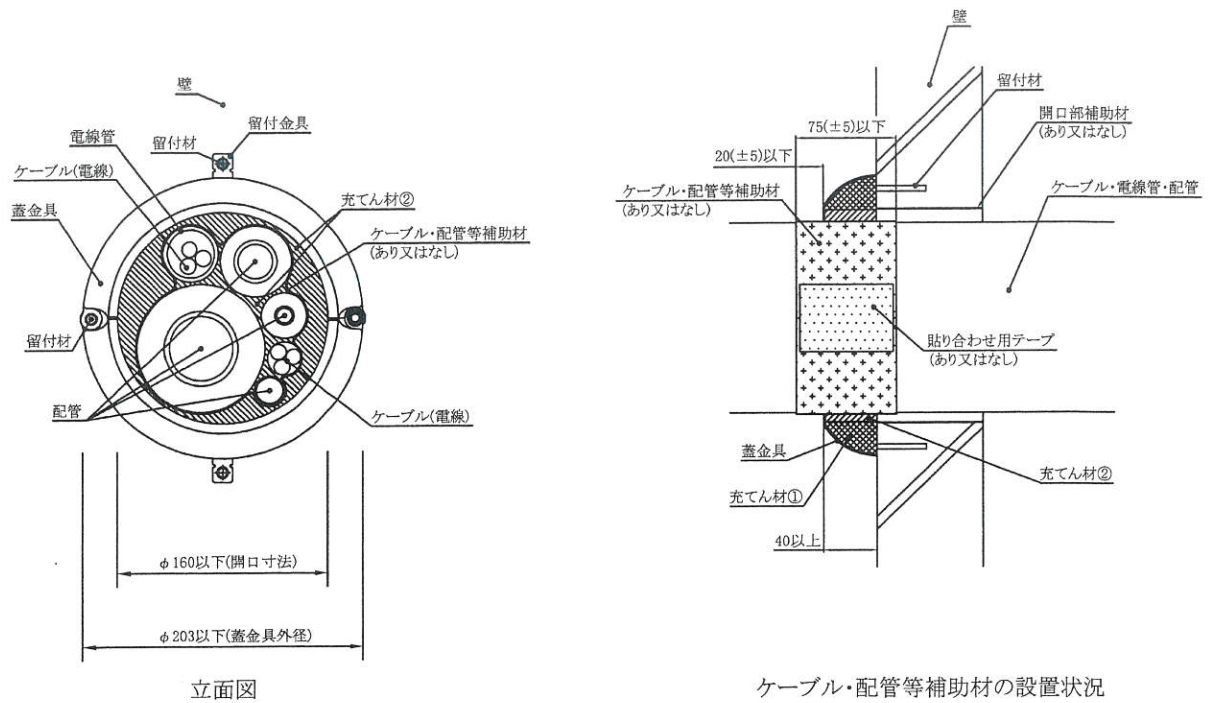
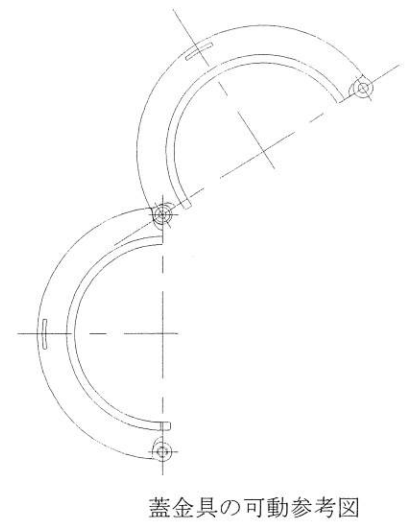
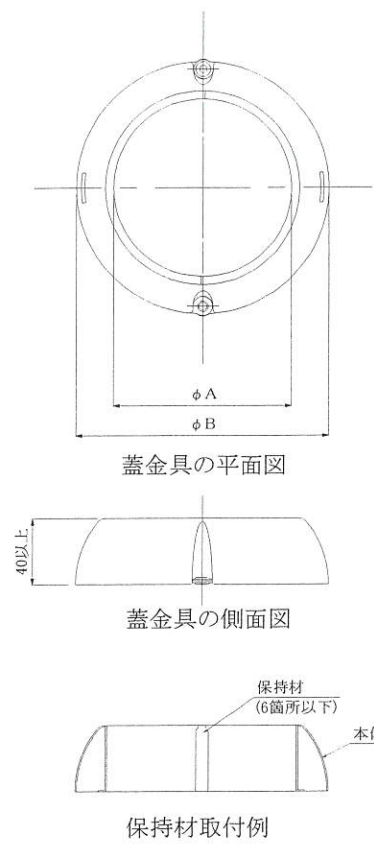
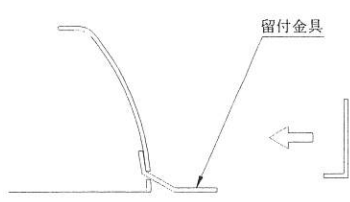
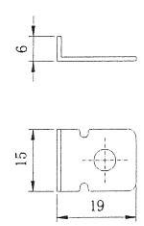


図1 構造説明図(施工図)

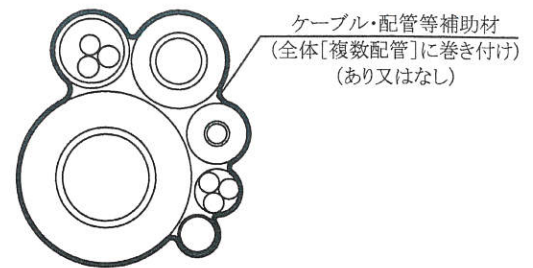
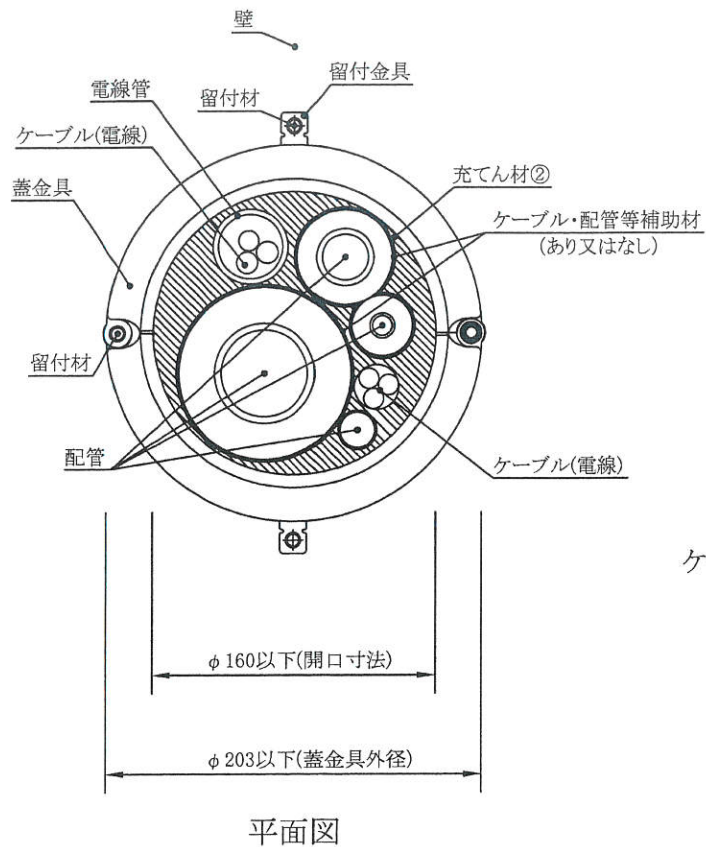


開口寸法	呼び	(φ A)	(φ B)
φ 55mm	50	52mm	98mm
φ 85mm	75	82mm	127mm
φ 110mm	100	107mm	152mm
φ 135mm	125	133mm	178mm
φ 160mm	150	158mm	203mm

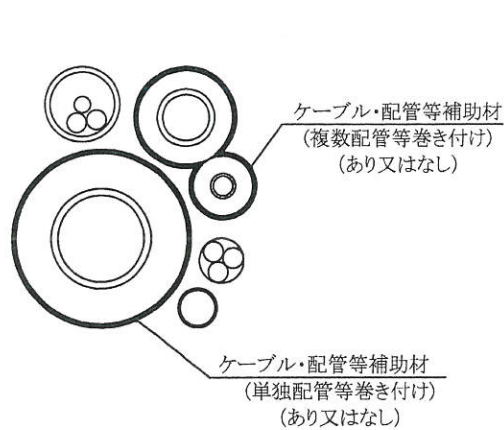


蓋金具及び留付金具詳細図(代表例)

図 2 構造説明図(施工図)

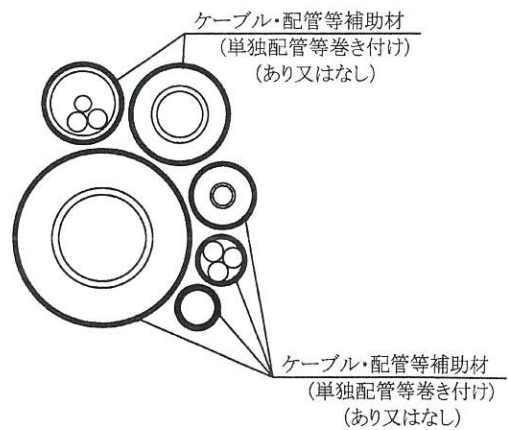


ケーブル・配管等補助材施工詳細図(1)
(全体[複数配管]に巻き付け例)



ケーブル・配管等補助材施工詳細図(2)
(単独配管等又は複数配管等に巻き付け例)

*ケーブル・配管等補助材は、
ありなし又は単管巻複数管巻が混在しても良い。



ケーブル・配管等補助材施工詳細図(3)
(単独配管に巻き付け例)

ケーブル・配管等補助材の施工例

図 3 構造説明図(施工図)

6. 施工方法：

施工は、以下の手順で行う。

(1) 貫通穴の設定

ボイド管やコアドリル等を用いてφ160mm以下の貫通穴を設ける。

中空壁の場合は、開口部補助材を開口に沿うように挿入する。

(2) ケーブル・配管等の設置

配管等を設置して支持・固定し、ケーブル・配管補助材を必要に応じて配管等に巻き、貼合わせ用テープで固定する。

なお、ケーブル・配管等補助材は、ケーブル・配管等の全体、単独配管等又は複数配管等に巻き付けても良い。

(3) 蓋金具の取付け

梱包紙に包まれた耐熱シール材（充てん材①）付蓋金具を開き、配管等を金具の中に入れ込んで留付金具、留付材を用いて4点以上固定する。（壁の片面に処置を行う）

(4) 熱膨張性耐熱シール材（充てん材②）の充てん・仕上げ

熱膨張性耐熱シール材（充てん材②）を全て金具の内部に密に充てんし、隙間が無く面一であることを確認し、脱落しないように仕上げる。（壁の片面に処置を行う）